



ら ぶ っ く
La・BOOK

1月号

No.127



**新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。**



明科図書館の「おでかけ図書館」



明科図書館は、明科公民館と近い場所にあるので、「公民館の講座」や「明科いいまちつくろうかい」の企画に、おでかけ図書館として参加させてもらうことが多いです。おでかけ図書館は、来てくれるのを待っているだけの図書館から地域に出て行って図書館の存在を知ってもらう、本の魅力を知ってもらう意味で大切な活動だと思っています。これからもおでかけ図書館を、地域と連携する図書館づくりの一つとして取り組んで参ります。今年度参加しているおでかけ図書館を2事例ご紹介します。

『大逆事件』 講座：明科公民館

「公民館講座」のシリーズで、講師の話が中心ですが、最初と最後に関連する本の紹介をさせて貰いました。大逆事件は明科が発端ということもあり今も人気のため大勢の参加がありました。明科図書館では「大逆事件」のコーナーを作って展示をしているので、私たち職員にとっても勉強になる話を聞くことができました。講座に参加された、九州熊本から来た出版社の方が、明科図書館で熱心に関連資料を読み込んでおられました。帰り際には「新しい発見ができてよかった」と感謝の言葉をいただきました。写真は「大逆事件」コーナー

『平和への願いを込めて』 企画：明科いいまちつくろうかい

平和への願いを込めてという内容の通り、満州から引き揚げてきた人の体験談をメインに、戦争中の体験を参加者同士が語り合うというものです。図書館としては、平和や戦争に関する本を持参し、会の中で紹介して参加者に実際に見てもらったり、その場で借りてもらったり、更には、読み聞かせを行っています。特に、谷川俊太郎の『せんそうしない』は大変好評でした。この企画は昨年度に続いての参加でした。

写真は読み聞かせの様子



☆おはなし会☆

安曇野市図書館 2月のイベント予定

開催館	おはなし会名	開催日	開催時間	定員(先着)
中央図書館	おはなしのとびら	1日・8日・15日・22日(各水曜日)	10時30分から(乳幼児以上対象)	7組
豊科図書館	ちいさいたんぼぼ	17日(金)	11時から(乳幼児以上対象)	7組
	おはなしたんぼぼ	17日(金)	16時30分から(幼児以上対象)	7組
三郷図書館	ポケットの会	11日(土)	10時30分から(乳幼児以上対象)	10組
	おはなし会	28日(火)	11時から(乳幼児以上対象)	10組
堀金図書館	おはなしのへや	21日(火)	10時30分から(乳幼児以上対象)	7組
	おりがみのへや	22日(水)	16時30分から(幼児以上対象)	7組
明科図書館	冬のおはなし会	25日(土)	11時から(乳幼児以上対象)	10組

◆講座など◆

開催館	講座名	内容	開催日時	場所	申込等
中央図書館	おはなしとしゃかん特別版「とくとくとくべつおはなし会」	安曇野市出身の絵本作家「まるやまあやこ」さんによる、絵本の読み聞かせとオリジナルぬり絵で遊ぶ特別なおはなし会です。	2月4日(土) 午前10時30分～午前11時30分	穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール	・対象：年長～小学校1、2年生親子 ・講師：まるやまあやこさん(絵本作家) ・費用：無料・定員：20組(申込先着順) ・申込：1月21日(土)から中央図書館の窓口又は電話
	映画上映会「最高の人生のつくり方」約94分	図書館所蔵DVDを大画面で上映する毎月開催の上映会です。	2月17日(金) 開場午後6時 開演午後6時30分		・対象：一般・費用：無料 ・定員：60人(当日先着順) ・申込：不要 ・問い合わせ先：中央図書館
	「絵本でほっこり絵本セラピー」	絵本の癒し効果に触れてみませんか？あなたの大切な絵本、思い出の絵本を大人だけの空間で読み合います。聞くだけの参加も可能です。	2月3日(金) 午後2時～午後3時半		・対象：大人・費用：無料 ・定員：10人(申込先着順) ・持ち物：当日読む絵本 ・申込：1月20日(金)から中央図書館の窓口又は電話
	「おいしい安曇野産 プランター菜園のはじめ方」	プランターを使って、気軽にできる野菜作りを始めませんか？基礎知識や豆知識、おすすめの野菜などを紹介します。	2月18日(土) 午後1時半～午後3時		・対象：大人・費用：無料 ・定員：60人(申込先着順) ・講師：大池俊二さん(農山漁村文化協会) ・申込：1月24日(火)から中央図書館の窓口又は電話

一般書 『マタタビ町は猫びより』

田丸 雅智／著 辰巳出版

表紙

マタタビ町は猫と人間が仲良く暮らしています。一見普通の町ですが、ちょっと不思議な猫たちが住んでいます。例えば、頭の上に小さな回転灯を付けている猫ポリスや、決まった時間に起こしてくれる目覚まし猫、ヒゲでラジオの電波を受信してしまう猫、頭に被れてしまう猫など個性豊かすぎる猫たちが登場します。1話が5分位で読めるショートストーリーなので、スキマ時間に読んでみてください。

児童書 『ふゆのコートをつくりに』

石井睦美／文 布川愛子／絵 ブロンズ新社

表紙

ぐるっと回るとお花みたいなコートは、大好きなお母さんのおさがり。でも着てみると、ちょっと大きいみたい。仕立て屋のミコさんに仕立て直してもらいます。ミコさんが直してくれた服は、うれしい時もさみしい時も、その服を着ていた人が、そばにいるような気持ちになります。さあ、とっておきのコートができあがりましたよ。

12月の貸出ランキング

一般書

- 1 透明な螺旋／東野圭吾
- 2 岩波国語辞典 第8版／西尾実
- 3 希望の糸／東野圭吾
- 4 白鳥とコウモリ／東野圭吾
- 5 子宝船 きたきた捕物帖2／宮部みゆき

AV資料

- 1 裸の大將 放浪の虫が動き出したので／松本明
- 2 岳 ガク／片山修
- 3 塔の上のラプンツェル／ネイサン・グレン 他

堀金図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

「堀金の《烏川》の名前の由来を知りたい」

文献上に初めて出てくるのは、正保年間(1644~48年)の国絵図(上田市立博物館蔵)に「からす川」と記載があります。

蝶ヶ岳に源を発する烏川は、常念岳からの一ノ沢などの支流と合流し、堀金、穂高を流れ、穂高川となつて、犀川へ注いでいます。

名前の由来は、諸説あります。

- 烏川の河原の石は、黒っぽい粘板岩や砂岩が多いことから全体的に黒く見え、烏のカラスの黒い色を連想した説
- カラスが水信仰に関係した霊鳥的存在だったことから、水に対する思い入れの強さがカラスの名前を借りたという説
- かつては上流で取水していたため、湯水期になると下流に水があまり流れなくなる。このため「かれす」川、「涸れ沢」川が訛って「からす」川になった説

昭和 28 年に本格的な治水工事が始まるまでは、水がなくなると夜中に「盗み水」を繰り返したり、「石合戦」をしたりと水争いが絶えなかったそうです。

【参考資料】

- 「ふるさとの川」信濃毎日新聞社編集局
- 「松本盆地の生いたちをさぐる」自然観察資料集作成委員会編集
- 「堀金村誌 上巻」堀金村誌編纂会
- 「長野県の地名その由来」松崎岩男、信濃古代文化研究所
- 「日本歴史地名大系 20 長野県の地名」平凡社

児童書

- 1 おすしがふくをかいにきた／田中達也
- 2 ぽんぽんポコポコ／長谷川義史
- 3 11ぴきのねこ／馬場のぼる
- 4 11ぴきのねことあほうどり／馬場のぼる
- 5 てぶくろ ウクライナ民話／エウゲーニー・M・ラチョフ



明けましておめでとございます。いよいよ令和5年の幕開けです。例年多くの皆様から好評を得ています「本のお年玉」、今年も年明け早々からご案内しています。令和5年も色々な行事を計画しますので、図書館を有効活用していただくと共に、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

※編集後記※



編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
- 豊科図書館 ☎71-4022
- 三郷図書館 ☎76-3078
- 堀金図書館 ☎72-3601
- 明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho